

市産品のPR戦略について

～ 効果的なPRに努める ～



後藤 雅 克
ごとう まさかつ

創 生 会

質

地場産品のブランド化、オール豊後大野のブランド化を推進するという目標のもと、今後のビジョンと戦略は。

答

商工観光課長

総合計画ではブランド化や販路拡大の強化、総合戦略では本市の基幹産業である農業の振興を基本とした農商工観の連携を図りながら、豊後大野市の豊かな地域資源をブランド化し、力強い産業を確立することで新しい雇用の創出を目指すとしています。販売額

質

ブランド推進課等の設置検討は。

等の詳しい目標は、現在定めていません。

答

市長

現時点では考えていません。本年4月より理事制を導入し、理



事がこれらの事業を連携させていくために横の連携を図っていますので、その実績を見ていきたいと考えています。

また、チャンネルを広げすぎているので、選択と集中ということで少し整理して、有効なところに資金を投入するやり方を今後は考えていきたいと考えています。

ふるさと納税を強化すべきでは

～ 本年度は1億円を目指す ～

質

各自自治体が有効な財源確保の機会と捉え、注目されているふるさと納税に、もっと力を入れるべきではないか。

答

まちづくり推進課長

本市は、取り組みが遅れたので、先進自治体の取り組みやポータルサイトのノウハウを取り入れ、事業効果を上げたいと考えています。

参加頂く事業者数を増やす働きかけを強化し、返礼品の品揃えの充実に努めます。

また、ふるさと納税ポータルサイトを増やし、本年度は1億円の大台を目標としています。

※ポータルサイト＝玄関口となる Web サイトのこと。



みね 英 治

市民クラブ

高齢化等を踏まえた まちづくり施策について

～ 新規事業を精査し、積極的に努める ～

質

老人クラブ等の育成、強化は。

答

総務企画統括理事

加入率が高い他市の状況を調べ、本市への展開を検討しています。

質

支所はまちづくりの拠点である。新しく生まれ変わる支所・公民館等の在り方について、利便性を考え市民に早く周知を。

答

総務企画統括理事

他の団体等に対して、新しい支所・公民館に入れないことを説明し、今後のことについて、引き続き協議を重ねていきます。

質

今年度から取り組む市民提案型協働のまちづくり事業は好評。申請の分野別に補助してはどうか。

答

まちづくり推進課長

観光や高齢者福祉、社会教育、地域づくりなどの提案をいただいたが、テーマを絞らず必要性、公益性、発展性などから審査しました。衆目を集めにくい分野は行政提案型も検討していきます。

急傾斜地崩壊対策事業について

～ 事業枠の拡大を強く県に
要望していく ～

質

次年度、予算の増額を。

答

まちづくり推進課長

新規事業の効果を検証し、選択と集中による予算編成を行ってきたい。

質

本事業の現況は。

答

建設課長

三重町20件、清川町6件、緒方町12件、朝地町13件、大野町18件、犬飼町6件の計75件です。

質

申請件数に対し事業実施件数が少なく、申請してから事業着工までに7～8年要しています。

答

建設課長

る。市民の安全、安心をどう考えるか。

県の補助事業でもあるので事業枠の拡大を強く県に要望するとともに、事業実施できない箇所は、災害等で危険が予測される時には、消防や防災危機管理室とも情報共有を図り、地域ぐるみで早めの避難につながるよう努めます。

